



## 株式会社ギフトホールディングス

2024年10月期第2四半期決算説明会レポート（書き起こし）

2024年6月20日

## 登壇

---

**田川**：皆様、こんにちは。代表取締役の田川です。本日はお忙しい中、オンライン決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本日は、上期の業績結果と下期の取り組みについてご説明いたします。

## 業績サマリー



売上高	営業利益	経常利益
<b>13,552</b> 百万円	<b>1,545</b> 百万円	<b>1,594</b> 百万円
前年同期比：+26.3%	前年同期比：+51.3%	前年同期比：+51.6%

### 業績概要

アフターコロナの経営環境においても、**大幅な増収、増益**を達成し、**堅調な業績**を確保

#### 1店舗当りの品質向上

店舗QSCAの継続的な向上への取り組みにより、**直営店舗の1店舗当たり月商は過去最高**を更新。

#### 価格改定の実施

人件費等の運営コストの値上がりに対し、**1/1に価格改定を実施**。改定後も**客足の影響はなし**。

#### 生産体制の強化

**新たな製麺工場を期首より稼働**させ、拡大する需要に対して生産体制の強化を図っている。

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

3

それでは、2024年上期の業績ハイライトについてご説明いたします。

上期は、1月に価格改定を実施しましたが、1店舗当たりの品質向上をさせる取り組みを継続してきたこともあり、価格改定後も客足に影響は見られませんでした。直営店の月商は、過去最高を更新し、既存店が好調な状況が続きました。

さらに、食材を安定して供給できるように、新たな製麺工場を稼働させ、製造キャパの確保を図りました。結果として、当上期では大幅な増収増益を達成するとともに、中計の達成に向けて足場を固めることができました。

## — 2024年10月期 第2四半期 ハイライト



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

※出典：「令和4年 雇用動向調査結果の概況」(厚生労働省) 4

業績以外の重要指標につきましては、こちらに記載の通りです。

出店に関しましては、年間目標に対してやや遅れが生じているものの、下期にキャッチアップし、年間目標をクリアできるように準備を進めています。

## 売上高及び営業利益 四半期推移



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

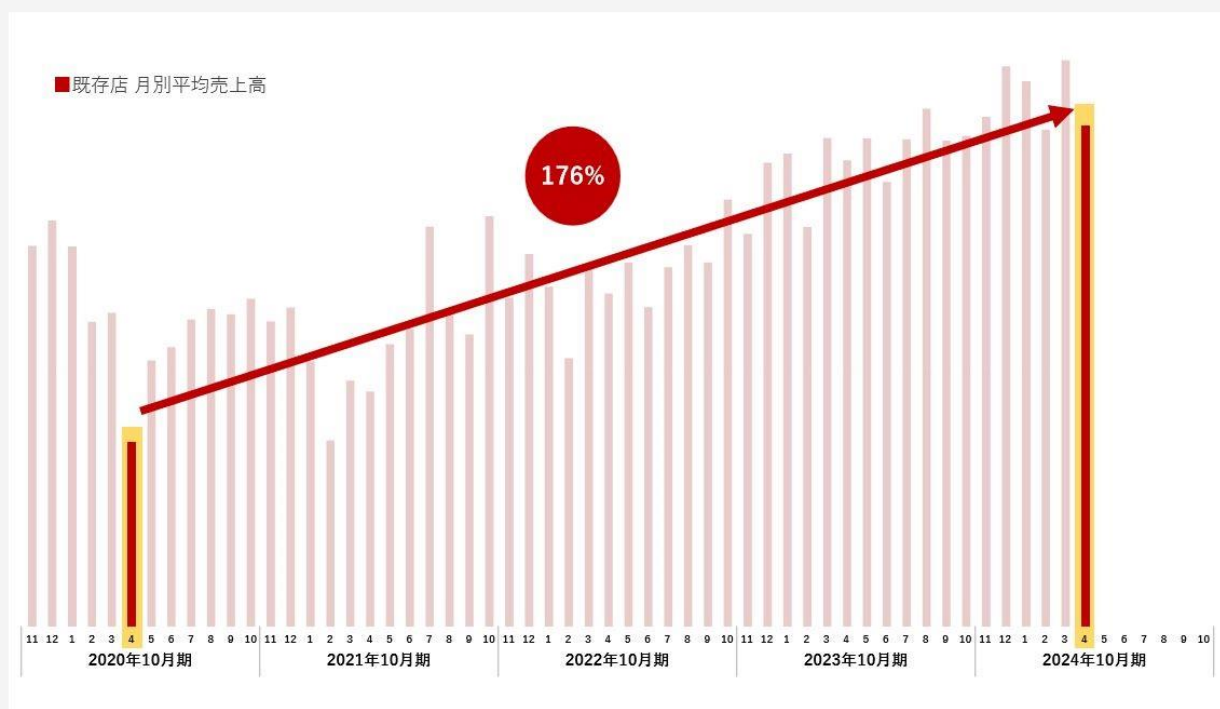
5

こちらは、売上高・営業利益の四半期推移です。ご覧の通りです。



## 国内 既存直営店 一店舗当たりの平均売上高推移

店舗QSCAの継続的な向上への取り組みにより、国内直営店舗の平均月商は過去最高を更新。  
 ※直近では2024年3月に過去最高を更新



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

6

こちらは、国内既存店 1 店舗当たりの月商の推移です。

季節性はあるものの、過去最高を更新し続けることができています。コロナ禍前に比べて、客数は約 105%、客単価は約 115%で、売上は 120%ほどとなっています。



## 価格改定の影響

価格改定後も客足は順調。柔軟な価格改定実施への余地がある。

2023年7月、2024年1月に価格改定を実施

価格改定による客数の減少は見られず、  
売上・客数ともに順調に推移



### 前年同期比（2023年10月期2Q比）



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

出典：直営既存店の2023年11月～2024年4月の状況

7

コストの見通しと価格改定についてご説明いたします。

価格改定につきましては、店舗運営コストの上昇分を転嫁させていただくという方針のもとで運営をしております。上期の価格改定につきましては、客足に影響がなかったことは先ほどご説明した通りですが、こちらでは下期以降のコストの見通しについてご説明いたします。

下期以降につきましては、円安の急激な進行や天候不順による不作、政府補助金制度の終了などにより、さまざまな食材やエネルギーコストの上昇を見込んでおり、これまでと同様に、店舗運営コストの上昇分を価格転嫁させていただく予定です。なお、食材では、特に豚肉、海苔、お米の価格上昇を予想しています。

この影響は、当社のみならず、他の飲食店でも同様と考えられるため、相対的な価格差には大きな変化はないと想定しております。



## 一 改装によるQSCAの向上と生産性アップ

商品クオリティの安定化のためIHを導入し、生産性アップのため最新レイアウトに改装を実施中  
改装後、売上は堅調に推移

	改装店舗数
2024年10月期 上期	6
2024年10月期 下期 (予定)	15
2024年10月期 合計	21



町田商店 浦和店

改装による効果

- IH導入で保温温度を一定にすることによる、**スープクオリティの安定化**
- 最新レイアウトによる**生産性アップ**
- **CO<sub>2</sub>排出量削減**に貢献

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

8

改装による QSCA の向上と、生産性アップの取り組みについてご説明いたします。

提供商品の品質安定化を目指した IH 機への切り替えと、店舗内オペレーションやお客様の快適性を増すための最新レイアウトの改装を行っております。既存店が好調なときこそ、こういった店舗改装を行うべきであると考えており、常にお客様に最高のラーメンを届けられるよう、ハード・ソフトの両面から改善に取り組んでおります。





## — 店舗運営におけるDX推進とお客様利便性向上に向けた取組み

ライスロボ導入によるオペレーション効率向上

キャッシュレス対応券売機導入による利便性向上

### ライスロボ導入



「町田商店」と「赤みそ家」に導入

導入により、

- 盛り付けにかかる専従時間を削減
- 計量誤差によるロスを削減



### キャッシュレス対応券売機を全店導入



全店でキャッシュレス対応券売機を導入予定

既存の券売機と比較し、

- キャッシュレス払いによるお客様の利便性向上
- 多言語表示が可能であり、インバウンド需要に対応
- データ経営の推進



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

9

店舗運営におけるDXと、お客様利便性向上に向けた取組みについてご説明いたします。

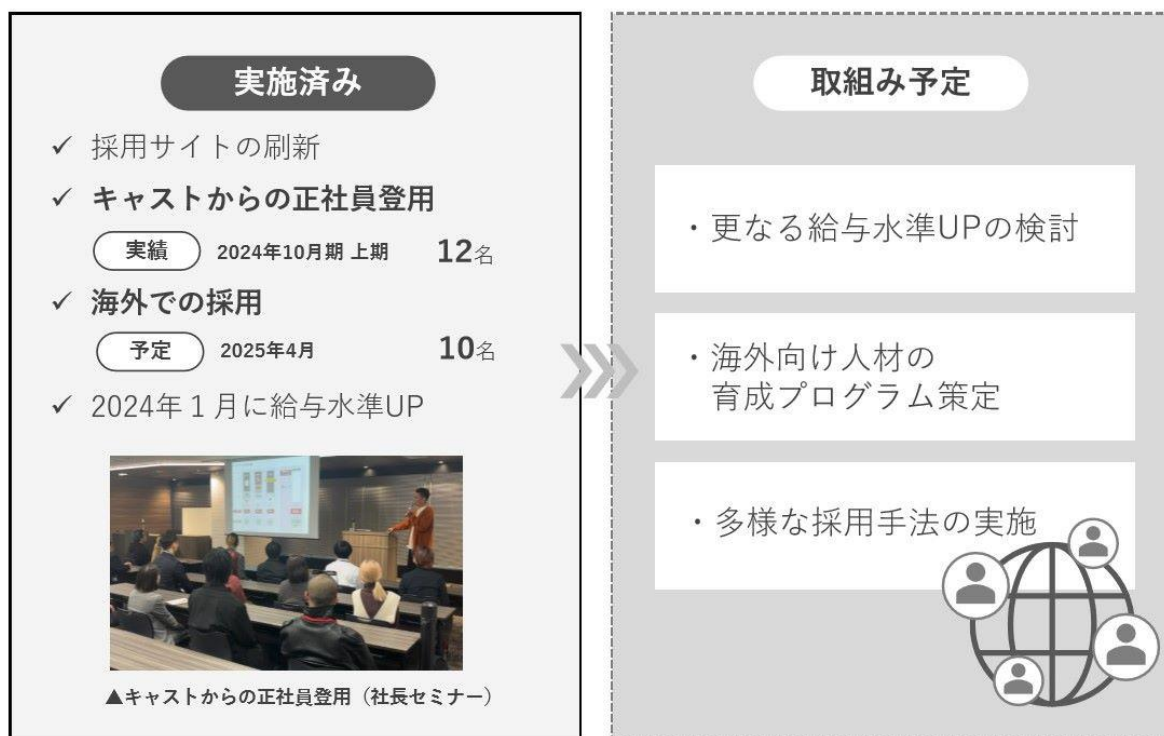
まず、ライスロボにつきまして、町田商店の全店に導入を完了しております。これにより、盛り付けにかかる専従時間を削減できるとともに、ロスの削減や衛生管理の強化を図ることができています。

次に、下期以降で、キャッシュレス対応のタッチパネル式券売機を全店で導入することを決定しました。これにより、キャッシュレス払いや多言語表示による、お客様の利便性向上を図ることができます。また、従来の券売機よりも故障が圧倒的に少ないため、券売機故障による機会ロスや手売り対応などを減らすことができると考えております。



## 一 人材確保施策の進捗

中期経営計画達成に向け、積極的な人材確保を実施



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

10

人材確保に向けた取り組みについてご説明いたします。

人材確保は、経営の最重要課題であると認識しており、採用力の強化、離職率の低下の両面から、できることは全て取り組んでおります。キャストからの正社員登用につきましては、私自身も自らキャストに会社説明を行い、会社の魅力を伝えることで、上期に12名の正社員化を図ることができました。

また、海外で採用活動を実施し、来年4月に入社予定の10名の内定承諾を得ております。入社までの期間で、現地の日本語学校で日本語の学習を行ってもらっています。この他にも、さらなる給与水準のアップや、多様な採用手法を実施することで、人材確保を図ってまいります。



## — 能登半島地震被災地での炊き出し実施

被災地（3市町村）にキッチンカーを派遣し、2日間でラーメン約1,200杯を炊き出し



今後も継続的な支援を実施してまいります

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

11

1月にキッチンカーが完成し、5月上旬に能登半島へラーメンの炊き出しに行ってまいりました。企業としての成長はもちろんですが、飲食企業としての社会的責任を今後も果たしていきたいと考えております。

それでは、決算概要について榎からご説明いたします。

## 一 損益計算書



	2023年10月期 2Q		2024年10月期 2Q			上期計画比		
	(単位：百万円)	金額	売上比率	金額	売上比率	前年同期比	上期計画	増減
売上高	10,729	-	13,552	-	+26.3%	13,300	+252	+1.9%
売上原価	3,444	32.1%	4,367	32.2%	+26.8%	-	-	-
売上総利益	7,285	67.9%	9,185	67.8%	+26.1%	-	-	-
販管費	6,263	58.4%	7,639	56.4%	+22.0%	-	-	-
営業利益	1,021	9.5%	1,545	11.4%	+51.3%	1,310	+235	+18.0%
経常利益	1,051	9.8%	1,594	11.8%	+51.6%	1,330	+264	+19.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	726	6.8%	1,054	7.8%	+45.2%	880	+174	+19.8%

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

13

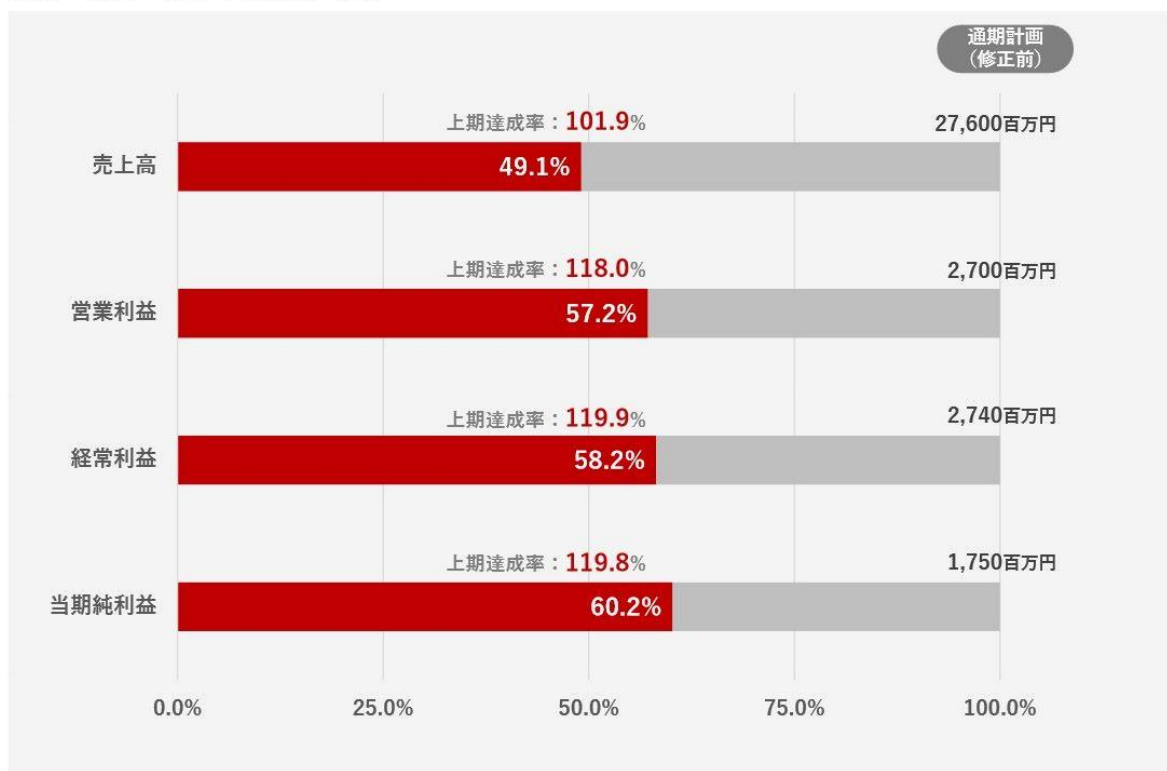
**榎：**IR担当の榎と申します。上期の業績についてご説明いたします。

売上高は135億円と、ほぼ計画通りで着地いたしました。営業利益は15.4億円と、既存店が好調であったため、計画を2.3億円上回ることができました。



## — 通期計画（修正前）に対する業績進捗率

全ての項目で上期の計画を達成  
通期の計画に対しても順調に推移

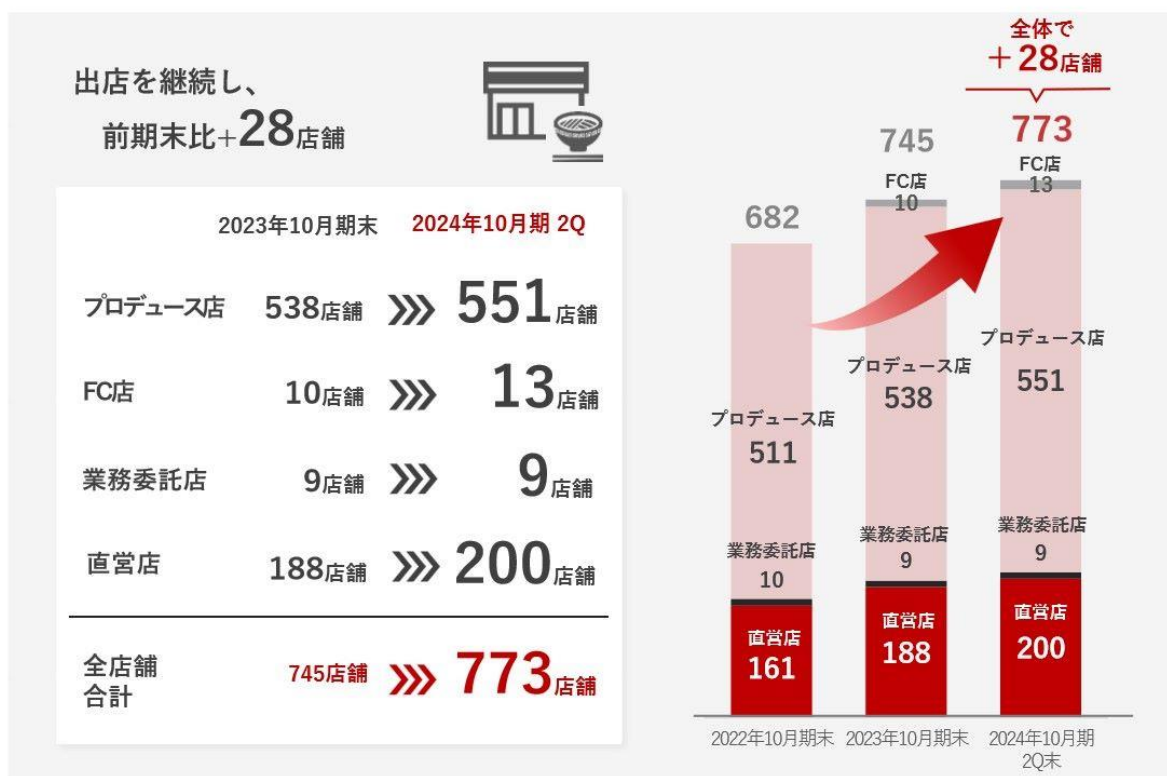


Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

14

こちらは、当初の通期計画に対する進捗率です。ご覧の通り、順調に推移をしております。

## 出店状況



Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

15

こちらは、出店の状況です。ご覧の通りとなっています。

## 一 店舗の状況（直営店/ブランド別増減内訳）



ブランド			元祖油堂 		
2024年10月期 第2四半期 店舗数	137	28	12	6	4
増減 (前期末比)	+6	-	+4	-	-

ブランド	中華そば 		海外 	その他
2024年10月期 第2四半期 店舗数	2	1	3	7
増減 (前期末比)	-	-	-	+2

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

16

直営店のブランド別の店舗数、出店数についてご説明いたします。

町田商店に次ぐブランドとして、豚山、そして元祖油堂の店舗数を拡大させております。上期は、出店した店舗の約半分が、元祖油堂など、町田商店以外の出店となりました。



## 一 店舗の状況（増減内訳）

(単位：店)		23年10月期末 店舗数	24年10月期 第2四半期末 店舗数	増減
直営店事業	関東	119	129	+10
	東日本（関東以外）	45	47	+2
	西日本	21	21	-
	海外	3	3	-
	小計	188	200	+12
売上高 <b>11,360</b> 百万円	業務委託店	9	9	-
	合計	197	209	+12
	プロデュース事業			
プロデュース事業	関東	309	311	+2
	東日本（関東以外）	117	118	+1
	西日本	99	108	+9
	海外	13	14	+1
	小計	538	551	+13
売上高 <b>2,192</b> 百万円	国内FC店	7	7	-
	海外FC店	3	6	+3
	合計	548	564	+16
店舗数総合計		745	773	+28

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

17

地域別の店舗数は、ご覧の通りとなっています。

直営店は出店戦略通り、人口集中エリア、そしてプロデュース店も出店戦略通り、地方エリアに出店し、全国にバランスよく出店することができています。直営店事業の売上は113億円となり、前年同期比プラス27.2%、プロデュース事業の売上は21.9億円となり、前年同期比プラス22%となりました。

海外につきましては、次のスライドでご説明いたします。





## 海外展開

外食市場の大きな北米は、直営店を中心に出店  
アジアは、FC店を中心に出店

海外店舗数合計

# 23店舗

アジア		アメリカ	
FC店	PD店	直営店	PD店
タイ 1店舗	マレーシア 2店舗	3店舗	1店舗
ベトナム 3店舗	フィリピン 2店舗		
カンボジア 1店舗	台湾 6店舗		
フィリピン 1店舗	香港 1店舗		
	タイ 1店舗		
	ベトナム 1店舗		

当期オープン店（FC店：ベトナム1店舗、カンボジア1店舗、フィリピン1店舗 PD店：フィリピン1店舗）

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

18

海外展開に関しましてご説明いたします。

国内の出店戦略と同様に、外食市場の大きな地域は直営店を出店し、それ以外の地域はFC店を出店をしております。国内と異なり、プロデュース店ではなく、FC店を中心に出店をしているのは、町田商店のブランド力を活かせることと、供給できる食材が国ごとに異なるため、ロイヤリティを収受して収益化できるようにという狙いからです。

## — B/Sサマリー —



(単位：百万円)	2023年 10月期	2024年 10月期 2Q	増減額	(単位：百万円)	2023年 10月期	2024年 10月期 2Q	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,552</b>	<b>3,808</b>	<b>+256</b>	<b>流動負債</b>	<b>3,777</b>	<b>4,245</b>	<b>+468</b>
現金・預金	2,220	2,299	+79	買掛金	697	808	+110
売掛金	547	589	+41	短期借入金	25	132	+106
その他	784	919	+135	一年内長期借入金	699	833	+133
				その他	2,354	2,471	+116
<b>固定資産</b>	<b>8,974</b>	<b>10,277</b>	<b>+1,302</b>	<b>固定負債</b>	<b>1,977</b>	<b>2,145</b>	<b>+168</b>
有形固定資産	6,007	7,172	+1,165	長期借入金	1,574	1,734	+159
無形固定資産	271	259	△11	その他	402	411	+9
投資その他資産	2,696	2,845	+148	<b>負債合計</b>	<b>5,755</b>	<b>6,391</b>	<b>+636</b>
				<b>純資産合計</b>	<b>6,772</b>	<b>7,694</b>	<b>+922</b>
				資本金	797	816	+18
				資本剰余金	1,049	1,044	△5
				利益剰余金	4,761	5,636	+874
				自己株式	△0	△1	△0
				その他包括利益累計	160	194	+34
				非支配株主持分	4	4	+0
<b>資産合計</b>	<b>12,527</b>	<b>14,086</b>	<b>+1,558</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>12,527</b>	<b>14,086</b>	<b>+1,558</b>

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

19

次に、B/S の状況についてご説明いたします。

自己資本比率は54.6%と、目標とする50%を達成しており、今後も財政状態の健全性を維持しつつ、出店に対する投資を継続していきたいと考えております。

## — C/Fサマリー —



(単位：百万円)	2023年10月期 2Q	2024年10月期 2Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,016	1,455	+438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,845	△ 1,592	+ 253
財務活動によるキャッシュ・フロー	303	194	△108
現金および現金同等物に係る換算差額	5	9	+3
現金および現金同等物の期末残高	1,487	1,922	+434

### 2024年 10月期2Q 主な内容

#### ■営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益：	1,550百万円
減価償却費：	373百万円
法人税等の支払額：	△351百万円

#### ■投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出：	△1,478百万円
敷金及び保証金の差入による支出：	△157百万円

#### ■財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増減額：	105百万円
長期借入による収入：	670百万円
長期借入金の返済による支出：	△376百万円
配当金の支払額：	△179百万円

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

20

キャッシュ・フローの状況につきましては、ご覧の通りです。

おおむね、営業キャッシュ・フローの範囲内で、出店に関する投資を賄っております。

それでは、業績見通しについて再度、田川からご説明いたします。



## — 通期業績予想の上方修正について

通期計画に対して順調に推移したため、足元の実績を考慮し、業績予想を修正

	2023年10月期	2024年10月期 従来予想 (A)	2024年10月期 修正予想 (B)	増減率 (B)/(A)	増減額 (B)-(A)
売上高	22,982	27,600	<b>28,500</b>	+3.3%	+900
営業利益	2,352	2,700	<b>3,000</b>	+11.1%	+300
経常利益	2,424	2,740	<b>3,060</b>	+11.7%	+320
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,597	1,750	<b>1,960</b>	+12.0%	+210

Copyright 2024 GIFT HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

22

**田川**：それでは、通期業績見通しの修正に関してご説明いたします。

通期の業績見通しは、売上を従来予想の 276 億円から 285 億円に、営業利益を従来予想の 27 億円から 30 億円に修正いたしました。上期の上振れ分をプラスオンするとともに、下期での出店のペースアップと、足元の月次動向を反映させました。

中期経営計画は、期末にローリングで見直すため、今回は修正しておりません。

上期決算のご説明は、以上となります。今後も、短期的な成長や利益を追うのではなく、美味しいラーメンを世界中に届けることで持続的に成長を続け、皆様のご期待にも応えていきたいと考えております。

ご清聴ありがとうございました。